

59)山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第二報)
兵庫生物 3(3):121-123.

60)山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録,
12-50.

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

シラキトビナナフシの採集例

近藤伸一

関宮町の妙見山南西山麓にあるブナ林(標高約700m)で同行の今西将行氏が採集したシラキトビナナフシ(*Micadina* sp.)を保管している。県下における本種の採集記録は少ないと思われるので報告する。

養父郡関宮町妙見山南西山麓

1♀ 26.XI.1995 今西将行採集

採集場所付近は約5cmの積雪があり、樹木はほとんどが落葉していた。貴重な標本を恵与された今西氏に厚くお礼申し上げる。

(KONDO SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

ヒラズゲンセイの兵庫県下の産地

(兵庫県甲虫相資料・324)

高橋寿郎

ヒラズゲンセイ *Cissites cephalotes* (Olivier)

は南方系の種であり、幼虫はクマバチの巣に寄生することが知られており、日本では琉球—沖繩本島、石垣島、四国(高知県)、本州(紀伊半島)に産するとされていた。兵庫県下からは洲本市金屋で1♀(I.VII.1977)が得られたことを登日邦明氏が発表されたのが一番初めての記録になると思われる。次いで森 和夫氏は神戸市北区山田町藍那から1♂を採集の報告をされた(1986)。次いで、杉浦

直人・三宅愼也氏は神戸市立森林植物園においてキムネクマバチの巣内でヒラズゲンセイを発見(9.VII.1990)、成虫の生態を観察、飼育をも試みられその生活史の推定をされた(1991)。さらに森 和夫氏は三木市緑ヶ丘町東にて採集されたのを報告しておられる(1993)。正式の報告発表はないが、筆者の所へ明石市明石城公園内で採集できているといった西 隆広氏からの手紙連絡を頂いている(1992)。さらに、前川和昭氏が洲本市安乎町浜の自宅の庭のクマバチの巣穴の下の地上で採集記録を発表になっている(1993)。

淡路島では洲本市内からのみの記録であるが、神戸市立森林植物園と藍那はわりと近い距離であり、ともに自然状態が良いところである。三木市内の緑ヶ丘も藍那からすればかなり近い地域であるが、どちらかといえば開発地域になるかと思う。藍那の北西の地であり、本州での現時点での北限になるかと思われる。これら3地点を結ぶ地域はまだまだ自然が残っている所もあり、環境としては悪くはない。したがって、このヒラズゲンセイの産は大いに期待出来るのではと思う。

以上のようにヒラズゲンセイは兵庫県では洲本市、明石市、神戸市、三木市に産することが確実な種のようなのである。

<参考文献>

前川和昭(1993) ヒラズゲンセイ他数種の採集報告. *Parnassius*(39): 11.

森 和夫(1986) ヒラズゲンセイを神戸市で採集. *きべりはむし*14(2): 36.

森 和夫(1993) ヒラズゲンセイ三木市に産す. *きべりはむし*21(2): 48-49.

杉浦直人・三宅愼也(1991) ヒラズゲンセイの生態に関する知見 *中国昆虫*(5): 1-5.

登日邦明(1980) トサヒラタゲンセイ淡路島に産す. *Parnassius*(23): 9.

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)